

# アンケート集計報告書

2022年11月24日

一般社団法人愛媛県歯科衛生士会

生涯研修担当 壽川

令和4年度愛媛県歯科衛生士会第6回第5次生涯研修制度 専門研修会についてのアンケート集計結果を報告いたします。

1. 開催日時：2022年11月20日（日）10:00～12:30（Web開催）
2. 参加人数：65人
3. アンケート方法：マイクロソフト アンケートフォーム使用
4. アンケート回答者/回答率：54名/83.1%
5. 内容：口腔機能低下症について

「明日から実践！口腔機能管理と訪問リハビリテーション」

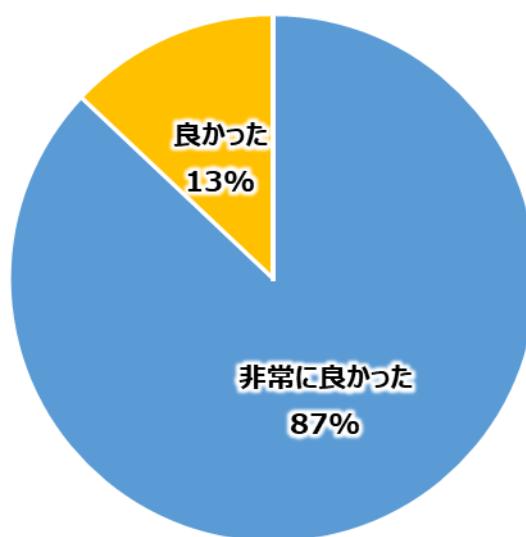
講師 徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔機能管理学分野 教授

徳島大学歯学部 副学部長・口腔保健学科長

松山 美和 先生（歯科医師）

## 【アンケート集計結果】

### 本日の研修会について



■ 非常に良かった ■ 良かった ■ 普通 ■ あまり良くなかった ■ 良くなかった ■ 無記入

## 【質疑応答】

アンケートでいただいた質問に対し、講師の先生からご回答いただきましたので掲載します。

(Q 1) 今年の歯科衛生士国家試験から、歯科診療補助の中に、口腔機能管理が盛り込まれ、国試対策に苦戦しております。どのようなポイントを押さえるべきかご教示いただきたいです。

(A 1) 本学では現在、「口腔機能低下症」と「口腔機能発達不全症」に焦点を当て、教授しています。

(Q 2) 当院では、他科(脳神経内科や呼吸器内科など)や歯科診療所等からの紹介外来患者さんの嚥下評価を、口腔外科の歯科衛生士が行っております。外部評価を一通り実施し、必要な方は非常勤の嚥下専門医と、STとともに、後日 VE や VF を実施しています。初診時の外部評価の際に、初診料と歯管、舌圧検査を実施しているので、検査料を算定していますが、口腔機能低下症の病名をつけていますので、この場合も口腔機能管理料を算定して良いのでしょうか。算定の事ばかりで申し訳ありません。実際には、30分以上かけて、丁寧に評価や指導をしていますので、算定出来るものはしっかりと算定したい！と考えております。それが患者さんのためにもなり、病院のためにもなりますし、評価する者のモチベーションにも繋がります。他に、取れるコストがあればご教示頂けますと幸いです。保険算定について、詳しい方が周りにおらず、いつも手探りです。お忙しいところ恐縮ですが、どうぞ宜しくお願ひ致します。

(A 3) 舌圧検査を実施しているのであれば、口腔機能低下症で、かつ、低舌圧があれば口腔機能管理料を算定できると思います。

## 【感想】

- ・ 今度はぜひ松山先生のご講義を直接お聴きしたいです。ありがとうございました。
- ・ 職場に検査機器は揃っているのですが、実際に検査したことがなかったため、検査の手順や基準値など具体的に知ることができ勉強になりました。
- ・ 口腔機能管理の必要性と客観性・数値化のための検査について詳しく知ることができました。ありがとうございました。
- ・ 口腔機能低下症についての講演は初めてでした。演習もでき、貴重な時間になりました。ありがとうございます。当院に来られる外来の患者さんでも口腔機能低下症ではないか?と思われる患者さんも多く、ですがどのように患者さんやその家族等に説明していいかが分からずモヤモヤした気持ちでいました。検査等する時間や道具もなくその時は口腔ケアと保健指導で済ませましたが実際の所根本的な解決にはなってないのではないかと思うこともあります。また今回の講習で管理料もとれることから当院でも積極的に取り入れていけたら良いなと思いました。外来だけでなく入院患者さんにも同じことが言えると思います。より深く患者さんのために何が出来るのかという事を学ぶことが出来ました。ありがとうございました。
- ・ 本日の研修会受講出させて頂きありがとうございました。咬合力低下の検査項目の残存歯数のインプラントを本数に加えて良いのかは、あやふや状態でしたので他の衛生士さんによる質問で先生にご回答いただきましたありがとうございました。
- ・ 本日は貴重なご講演をありがとうございました。口腔機能低下症の具体的な状態や検査、算定についても詳しくご講義頂き、非常に勉強になりました。
- ・ 具体的で非常に分かりやすい内容でした。ありがとうございました。
- ・ テーマのとおり明日から早速実践できる内容で、とても有意義な研修会でした。
- ・ 丁寧な説明でとても良く分かりました。有難うございます。